

かんべしゅう

神辺小だより

令和8年1月29日 発行

亀山市太岡寺町1310番地

亀山市立神辺小学校

NO.11 (文責:加藤)

学校評価アンケートの結果より

保護者、地域の皆さまにご協力いただきました学校評価アンケートについて結果を報告します。皆さまからいただきましたご意見を真摯に受け止め、神辺小学校の教育活動に活かしていきたいと考えております。今後ともご理解・ご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します。

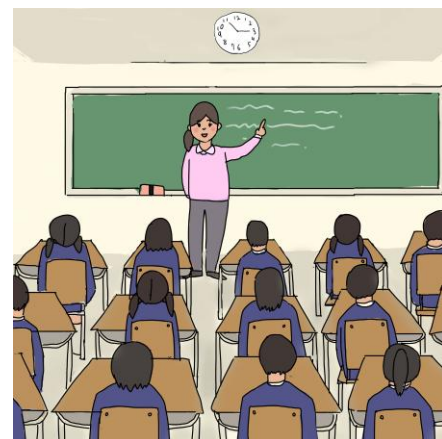
児童アンケート

- 「1 学校生活が楽しい」と感じている児童の割合は98%となっています。「楽しい」と感じることは、子どもたちの生活意欲や学習意欲全般に関わっていきます。今後も日々の授業づくり、なかまづくり等を充実させ、全教職員で学校づくりに取り組んでまいります。
- 「6 たて割り班活動」「13 学校や児童会の行事」についても肯定的回答の高い結果となりました。全校遠足、全校あそび等の活動に加え、今年度は毎月1回「児童集会」を定例化させ児童の交流の機会を増やしたことも要因になったと考えられます。
- 「11 学級の先生は自分の話を聞いてくれる(99%)」「17 わからないときは先生に教えてと言える(80%)」について、肯定的回答が昨年度よりも高い結果となりました。しかし、生活面の相談に比べると学習面の相談はしづらい傾向があることが分かります。子どもたちが安心して学習や生活に取り組めるよう教師との信頼関係構築に努めます。
- 「16 学校の授業がわかる」について、90%の児童が肯定的に回答しました。国語科、算数科におけるTT(チームティーチング)の授業やICTの活用、学習ボランティア、図書ボランティアさんの協力など、今後も児童の実態に合わせてサポート体制を整えてまいります。
- △「21 朝のスキルアップ学習」「22 金曜スキルアッププリント」への取組は9割以上の高い割合で子どもたちが肯定的に回答しました。一方で「20 家での勉強」の項目では、約3割の子どもが「不十分」と回答しています。学習の必要性は子どもたち自身も感じているところですが、家庭で主体的に学習に取り組むという点で依然課題があります。今年度からは新しく「放課後月曜スタディ」もスタートしたところですが、伴走的支援が必要な児童が一定数あると捉えています。
- △「15 人権についての勉強」「14 人やモノに出会う勉強や体験」の項目では、肯定的回答が高い結果となっていますが、「8 相手に自分の意見が言える」「2 自分からあいさつができる」については、積極的の回答が4割程度にとどまっています。学習したこと、体験したことが日常生活の能動的態度につながっていくよう今後も人権学習や出会い学習を大切に継続して取り組んでいきます。

保護者アンケート

保護者の皆さまには、多くの項目で肯定的な回答をいただき、昨年度に比べ評価の上がったものが

学校評価



多くみられました。神辺小学校の特徴と思われる項目について記述します。

- 「4 学校は、子どもたちが安全で安心できる学校環境づくりに努めている」の項目で 93%（昨年度 88%）の肯定的回答がありました。今後もいじめや差別を許さない学校づくりを実現するため、道徳、人権教育を大切にしたい学校づくりを目指してまいります。「21・26 子どもは相手の気持ちを考えた態度や言葉遣いができている」の項目でも 80%の保護者の方に肯定的回答をいただき、昨年度（61%）より評価が上昇しました。
- 「5 学校は地域の環境や人材を積極的に取り入れようとしている」（肯定的回答 95% 昨年度 89%）「6 学校は、保護者や地域の方々と連携しながら子どもたちを指導しようとしている」（肯定的回答 98% 昨年度 86%）の項目は高い評価結果でした。児童アンケート「14 校外の人やモノに出会う勉強や体験活動」でも 96%が「楽しい」と回答しています。
- 「20 子どもたちは、場に応じた挨拶ができている」について、（肯定的回答 93% 昨年度 84%）昨年度より 9ポイント上昇しました。子どもたちが学校、家庭、地域それぞれの場所で積極的な態度で人と関われるよう指導を続けてまいります。
- △「11 教職員は、子どもたちが分からないときに「教えて」と言えるよう努めている」の項目で肯定的意見は 67%でした。日頃から教師と児童の信頼関係構築に努め、学習面でも生活面でも子どもたちが相談しやすいよう体制づくりを整えてまいります。
- △「10 教職員は、授業をわかりやすくするために工夫している。」「9 教職員は、学習の基礎学力が定着するよう工夫している。」について約 8割の肯定的回答をいただきましたが、「27 子どもは、授業内容をよく理解している（75%）」「28 子どもは、宿題以外の家庭学習も行っている（54%）」の項目では昨年度よりも肯定的回答が下がりました。意欲をもって自主的に学習に取り組める手だてを講じていく必要があります。

地域アンケート

- 「6 学校は地域の環境や人材を積極的に取り入れようとしている」の肯定的回答は 80%、「7 学校は、保護者や地域の方々と連携しながら子どもたちを指導しようとしている」については 90%が肯定的な回答でした。自由記述では「ゲストティーチャーや出前授業は積極的に取り入れてほしい」というご意見もいただきました。ゲストティーチャー（人権学習・地域学習・特別支援教育）による授業や各ボランティアでの学校参画など、今後も地域の方々のお力を借りながら、より教育効果の高い学習につなげていきたいと考えます。
- △「10 子どもたちは、場に応じた挨拶ができている（80%）」「11 子どもは相手の気持ちを考えた態度や言葉遣いができている（70%）」についての肯定的回答率です。保護者の回答（93%）、児童の回答（86%）と多少の隔たりはありますが、「上級生が下級生の面倒をよく見てくれており、気持ちのよい挨拶をしてくれる」というご意見をいただいています。

《アンケート結果の活用について》

今回のアンケート調査の結果と考察を評価委員（学校運営協議会委員）に説明しご意見を頂戴します。そこでの評価を活かしながら、学校として教育活動の改善・充実に取り組んでまいります。具体的には、以下のことを考えています。

- ・道徳及び人権教育の推進（相手の気持ちを考えた態度・社会的態度・人モノとの出会い）
- ・放課後補充学習、月曜スタディ等のあり方（基礎学力・自主学習・地域人材）
- ・児童会、委員会活動の活性化（学校生活が楽しい・あいさつ）

